

# FUJITSU Hybrid IT Service Digital Application Platform

## データベースサービス仕様書

2022年12月1日

### 1. サービス仕様

当社は、当社が提供するデータベース製品である「FUJITSU Software Enterprise Postgres」を利用して、クラウド上にデータベース環境を構築できる、以下のサービスを提供します。

本サービスの提供プランは「別表」に記載の内容から選択可能です。

#### (1) データベース仮想サーバ

リレーショナルデータベースのセットアップ、運用（参照レプリケーション、バックアップなど）において、以下のサービスを提供します。これにより、契約者が業務アプリケーションの開発に専念することができます。利用中のデータベース仮想サーバを別タイプにいつでも変更することができます。変更には、データベース仮想サーバを再起動する必要があります。

なお、データベース仮想サーバへの接続にはFUJITSU Software Enterprise Postgres クライアントが必要です（注）。

##### ① 参照レプリケーション

冗長化構成において、データベースへの参照負荷が高い場合、スタンバイ側のデータベース仮想サーバのデータを参照用に非同期で複製（参照レプリカ作成）する機能を提供します。参照レプリカを参照することで、データベースの負荷を分散させることができます。

##### ② オートフェイルオーバー

冗長化構成において、データベース仮想サーバが停止または利用不可となった場合、別物理ホストに存在するスタンバイ側のデータベース仮想サーバへ自動的に切り替わる機能を提供します。

##### ③ 設定変更

データベース仮想サーバ作成時の設定を後から変更できる機能を提供します。

##### ④ メンテナンス設定

データベース仮想サーバの変更適用時間帯を週単位で設定することができます。また、パッチ適用を任意のタイミングで実施することができる機能を提供します。

- ・適用に再起動が必要なデータベース仮想サーバの変更がある場合、あらかじめ設定した時間帯にデータベース仮想サーバを自動で再起動し、適用を設定することができます。

- ・本サービスで使用するデータベース製品（FUJITSU Software Enterprise Postgres）のパッチ、セキュリティアップデートなどのマイナーバージョンアップがリリースされた場合は、任意のタイミングで適用することができます。

##### ⑤ 監視設定モニタリング/イベント通知

データベース仮想サーバの性能情報およびリソースを監視し、閾値を超えた場合はメールで通知する機能を提供します。

- ・データベース仮想サーバの性能情報の取得ならびにOSレベルの監視（CPU使用率、メモリ容量等）および

FUJITSU Software Enterprise Postgres 内リソースの監視を行うことができます。閾値の設定および閾値を超えた場合のメール送信可否を設定することができます。

- ・データベース仮想サーバにイベントが発生した際のメール通知を設定することができます。

##### ⑥ データベースログ参照

- ・データベースエンジンのSQLおよびエラーのログを参照できる機能を提供します。

- ・データベースアクセスに関する情報を監査ログとして取得することができます。

監査ログは、専用ログファイルに出力することができます。

##### ⑦ 自動バックアップとポイントインタイムリカバリ

ブロックストレージに保存したデータベース仮想サーバのデータ、設定ファイルのフルバックアップを自動で取得する機能を提供します。障害発生時は、任意（自動でバックアップした時間から最新時刻迄）の日時を指定して復旧できます。

##### ⑧ オートスケール（ディスクサイズ）

以下のすべての条件を満たした場合、自動的に当該ディスクサイズをスケールアップします。

- ・データベース仮想サーバの構成がマルチ構成
- ・APIでオートスケール利用を設定
- ・自動バックアップを取得する設定

- ・データベース仮想サーバの状態が **Active** または **Restart\_Required** 状態
  - ・データベース仮想サーバに割り当てられたブロックストレージの空き容量が **20%**未満になった場合
- (注) オートスケールによりブロックストレージのディスクサイズをスケールダウンすることはできません。  
ディスクサイズが小さいデータベース仮想サーバが必要な場合は、新規に配備してください。

・オートスケールによる拡張サイズ

オートスケールによる拡張されるブロックストレージのサイズは以下のとおりです。

割り当てられたディスクサイズ	オートスケールによる拡張サイズ
200GB 未満	10GB 単位
200GB 以上～500GB 未満	20GB 単位
500GB 以上～1000GB 未満	50GB 単位
1000GB 以上	100GB 単位

・オートスケールの最大ディスクサイズ

API で設定したサイズまでオートスケールによりブロックストレージを拡張することができます。  
サイズを設定しない場合は、デフォルトで **10000GB** が設定されます。

・オートスケールの実施時間帯

オートスケールを実施する時間帯を指定できます。

イベント通知の登録によりオートスケールの開始時と終了時にメールで通知されます。

(注) オートスケールが設定した時間帯の終了時間を越えて継続されることがあります。

⑨ オートスケール (仮想サーバタイプ)

以下のすべての条件を満たした場合、自動的に仮想サーバタイプを上位の仮想サーバタイプにスケールアップします。

- ・データベース仮想サーバの構成がマルチ構成
- ・API でオートスケール利用を設定
- ・データベース仮想サーバの状態が **Active** または **Restart\_Required** 状態
- ・データベース仮想サーバの 1 日の平均 CPU 使用率またはメモリ使用率が **80%**を超えて稼働した場合

(注) オートスケールにより下位の仮想サーバタイプに変更することはできません。

下位の仮想サーバタイプが必要な場合は、新規に配備してください。

・オートスケールによる仮想サーバタイプ変更

同一の仮想サーバタイプで上位のタイプに変更します。

(例) C3-2 を利用している場合、C3-2 → C3-4 → C3-6 に変更します。

・オートスケールの実施時間帯

オートスケールを実施する時間帯を指定できます。

イベント通知の登録によりオートスケールの開始時と終了時にメールで通知されます。

(注) オートスケールが設定した時間帯の終了時間を越えて継続されることがあります。

⑩ オートスケール (参照レプリカ)

以下のすべての条件を満たした場合、参照レプリカがスケールアウトされます。

- ・データベース仮想サーバの構成がマルチ構成
- ・API でオートスケール利用を設定
- ・データベース仮想サーバの状態が **Active** または **Restart\_Required** 状態
- ・データベース仮想サーバの直近 1 時間の平均 CPU 使用率が **80%**以上または DB コネクション数が最大値の平均が **80%**

以上になった場合

(注) オートスケールにより参照レプリカをスケールインすることはできません。

参照レプリカ数を少なくしたい場合は、オートスケールを停止し、参照レプリカを削除してください。

- ・オートスケールによる拡張数

オートスケールによる最大の参照レプリカの台数は1～5台まで利用者に設定可能です。

デフォルトでは最大5台に設定されます。

(注) 手動で作成された参照レプリカとあわせて5台まで設定することができます。

- ・オートスケールの実施時間帯

イベント通知の登録によりオートスケールの開始時と終了時にメールで通知されます。

(2) ブロックストレージ

データを保存するためのブロックストレージを提供します。契約者は1GB単位で任意に容量を割り当てることができます。

(3) スナップショット・自動バックアップストレージ

① スナップショット

リレーショナルデータベースのデータベース仮想サーバのスナップショットを取得し保存できる機能を提供します。スナップショット取得時には、対象データベース仮想サーバについてのスナップショットが作成されます。取得したスナップショットより、リレーショナルデータベースを作成することができます。データベース仮想サーバのデータ、設定ファイルのフルバックアップを任意の時点で取得することができます。障害発生時は、スナップショットを使用してバックアップ取得時点で復旧することができます。

② 自動バックアップストレージ

自動バックアップで作成したバックアップを保持期間まで保持することができます。

(注) FUJITSU Software Enterprise Postgres クライアントは、以下の URL で公開しています。

<https://doc.cloud.global.fujitsu.com/jp/dbservice/index.html>

(4) 操作ポータル

API によるデータベース仮想サーバの操作の一部を、操作ポータルにより GUI 画面で操作する機能（起動、停止、再起動など）を提供します。

操作ポータルから実施できる操作は下記マニュアルを参照ください。

FUJITSU Hybrid IT Service Digital Application Platform データベースサービス 操作ポータルユーザズガイド

<https://doc.cloud.global.fujitsu.com/jp/dbservice/index.html>

2. 提供リージョン

本サービスは、以下のリージョンで提供されます。

- ・東日本リージョン3

別表 データベースサービス提供プラン一覧

[データベース仮想サーバ]

■スタンダードCPU

仮想サーバタイプ	仮想CPU数 (vCPU)	ソケット数	1ソケットあたりのコア数	メモリ割当 (GB)
C3-2	2	2	1	4
C3-4	4	4	1	8
C3-6S	6	1	6	12
C3-8	8	8	1	16
C3-10S	10	1	10	20
C3-12S	12	1	12	24
C3-14S	14	1	14	28
C3-16	16	16	1	32
S3-1	1	1	1	4
S3-2	2	2	1	8
S3-4	4	4	1	16
S3-6S	6	1	6	24
S3-8	8	8	1	32
S3-8S	8	2	4	32
S3-10S	10	1	10	40
S3-12S	12	1	12	48
S3-14S	14	1	14	56
S3-16	16	16	1	64
S3-16S	16	4	4	64
M3-1	1	1	1	8
M3-2	2	2	1	16
M3-4	4	4	1	32
M3-6S	6	1	6	48
M3-8	8	8	1	64
M3-8S	8	2	4	64

■ハイスピードCPU

仮想サーバタイプ	仮想CPU数 (vCPU)	ソケット数	1ソケットあたりのコア数	メモリ割当 (GB)
C4-2S	2	1	2	4
C4-4S	4	1	4	8
C4-6S	6	1	6	12
C4-8S	8	1	8	16
C4-10S	10	1	10	20
C4-12S	12	1	12	24
C4-14S	14	1	14	28
C4-16S	16	1	16	32
C4-20S	20	2	10	40
C4-24S	24	2	12	48
C4-28S	28	2	14	56
C4-32S	32	2	16	64
S4-1S	1	1	1	4
S4-2S	2	1	2	8
S4-4S	4	1	4	16
S4-6S	6	1	6	24
S4-8S	8	1	8	32
S4-10S	10	1	10	40
S4-12S	12	1	12	48
S4-14S	14	1	14	56
S4-16S	16	1	16	64
S4-20S	20	2	10	80
S4-24S	24	2	12	96
S4-28S	28	2	14	112
S4-32S	32	2	16	128
M4-1S	1	1	1	8
M4-2S	2	1	2	16
M4-4S	4	1	4	32
M4-6S	6	1	6	48
M4-8S	8	1	8	64
M4-10S	10	1	10	80
M4-12S	12	1	12	96
M4-14S	14	1	14	112
M4-16S	16	1	16	128
M4-20S	20	2	10	160
M4-24S	24	2	12	192
M4-28S	28	2	14	224
M4-32S	32	2	16	256
LM4-1S	1	1	1	16
LM4-2S	2	1	2	32

LM4-4S	4	1	4	64
LM4-6S	6	1	6	96
LM4-8S	8	1	8	128
LM4-10S	10	1	10	160
LM4-12S	12	1	12	192
LM4-14S	14	1	14	224
LM4-16S	16	1	16	256
LM4-20S	20	2	10	320
LM4-24S	24	2	12	384
XM4-1S	1	1	1	32
XM4-2S	2	2	2	64
XM4-4S	4	1	4	128
XM4-6S	6	1	6	192
XM4-8S	8	1	8	256
XM4-10S	10	1	10	320
XM4-12S	12	1	12	384
L4-12S	12	1	12	128
L4-24S	24	2	12	128
DM4-1S	1	1	1	48
DM4-2S	2	1	2	96
DM4-4S	4	1	4	192
DM4-6S	6	1	6	288
DM4-8S	8	1	8	384
HM4-1S	1	1	1	64
HM4-2S	2	1	2	128
HM4-4S	4	1	4	256
HM4-6S	6	1	6	384

[データベースストレージ]

メニュー
ブロックストレージ
スナップショット・自動バックアップストレージ

附則（2021年10月1日）

本サービス仕様書は、2021年10月1日から適用されます。

附則（2021年10月18日）

本サービス仕様書は、2021年10月18日から適用されます。

附則（2021年12月16日）

本サービス仕様書は、2021年12月16日から適用されます。

附則（2022年2月1日）

本サービス仕様書は、2022年2月1日から適用されます。

附則（2022年3月1日）

本サービス仕様書は、2022年3月1日から適用されます。

附則（2022年6月1日）

本サービス仕様書は、2022年6月1日から適用されます。

附則（2022年9月1日）

本サービス仕様書は、2022年9月1日から適用されます。

附則（2022年12月1日）

本サービス仕様書は、2022年12月1日から適用されます。